

コーヒーで服用は駄目

冬將軍の到来する頃となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？ 以前より来局された方から質問を受けました。「お薬はコーヒーで飲んでいいの?」。もちろん良くありません。コーヒーにはカフェインという成分が含まれて

います。この成分はお薬の作用を強めたり、逆に弱めたりすることがあります。例えば、風邪薬や鼻炎薬にはカフェインが含まれているものが多くあります。これらと一緒に飲むことで、取り過ぎになることがあります。

また、解熱剤であるイブプロフェンなどの吸収を高めてしまうという報告などもあり注意が必要です。

さらに、カフェインには精神活動を活発にさせる作用があります。睡眠導入剤や精神安定剤などのお薬とは効果を打ち消し合うことになり、期待

したお薬の効果を得られないことがあります。その他にも、気管支ぜんそくのお薬や尿酸値を下げるお薬の中にも影響を受けるものがあります。

では、お薬を飲んでか



むのを控えましょう。またコーヒー以外にも紅茶、玉露のお茶にはコーヒーの2〜3倍ほどのカフェインが含まれているので注意が必要です。

飲み合わせによって、お薬本来の効き目に影響が出る可能性があるため、面倒でもお薬は水で飲むようにしましょう。ご自身のお薬が気になる方はかかりつけの薬剤師にご相談ください。

皆さまがおいしいコーヒーやお茶を飲みながら、ゆつくりすてきな時間経過させますように。

(薬剤師 西 美香)

薬話 よもやま話

[86]

松阪地区薬剤師会

か起こります。お薬を服用する前後30分くらいはコーヒーを飲

み合わせによって、お薬本来の効き目に影響が出る可能性があるため、面倒でもお薬は水で飲むようにしましょう。ご自身のお薬が気になる方はかかりつけの薬剤師にご相談ください。